

第7回 TIAナノグリーン・サマースクール開催報告



山本洋平 教授
 筑波大学数理物質系

環境・エネルギー分野のイノベーション、いわゆるグリーンイノベーションに貢献する人材を育成するための教育プログラムとして、本年もナノグリーン・サマースクールが8月27日から29日の日程で開催されました。実施・運営を行った山本洋平教授(筑波大学数理物質系)にお話を伺いました。

第7回目となるTIAナノグリーン・サマースクールが開催されました。昨年、一昨年に引き続き3日間の日程で密度の高いプログラムを組みました。対象はナノグリーン分野の研究に興味を持つ大学院生で、計13名の申し込みがありました。筑波大学以外の大学院からの参加者4名が含まれています。今後つくば地区以外の学生に旅費等をサポートすることで、研究交流の場を提供していきたいと思っております。

本サマースクールのプログラムは、ナノグリーンに関連する基礎から先端研究を含んだ講義によって構成されています。スクール参加者は3日間にわたり、太陽電池、光デバイス、先端計測、放射光による分析などについての講義を行いました。講義の先生方の熱心な様子が印象的でした。

1日目は、2コマの講義後、午後から物質・材料研究機構を訪問し、研究施設や研究室の見学を行いました。

2日目の午後には、受講者によるショートプレゼンテーションに引き続き、ポスターセッションが行われました。企業、研究所、大学教員によるアドバイザーから様々な形での討論や提言が行われました。また、発表者間でも活発な討論が行われていました。また、「ナノグリーンに関する見識や提案」に関するレポート課題もあり、ポスター発表後の懇親会でも、受講生は熱心に議論を行っていたのが印象的でした。3日目の講義終了後、修了式が行われました。受講生に修了証書が授与され、引き続いて、ポスター発表とレポートが優秀と認められた3名の学生に奨励賞が授与されました。

全体を通じて、講義、発表とも、受講者が積極的に質問やディスカッションを行っていたのがとても印象的でした。将来、受講者が社会に出て活躍し、本スクールの経験が活かされればと思います。

熱心な講義風景



修了式での奨励賞授与



活況だった合同ポスターセッション

ポスター紹介のショートプレゼン



物質・材料研究機構(NIMS)での施設見学



開催日	2019年8月27日(火)～8月29日(木)
会場	筑波大学総合研究棟B
主催	筑波大学大学院数理物質科学研究科、エネルギー物質科学研究センター(TREMS)
共催	物質・材料研究機構(NIMS)
構成	講義7コマ+ポスターセッション(レポート提出)+施設(NIMS)見学
参加者数	13名(大学院生 13名)
修了証	11名に授与
表彰者	奨励賞(ポスター+レポート)3名

TIA連携大学院 News Letterのバックナンバーは、ウェブサイトでご覧になれます。 <https://tia-edu.jp>



●編集・発行・連絡先:

国立大学法人 筑波大学 TIA推進室 tia-edu@un.tsukuba.ac.jp
 〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1